



## 2023年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年5月15日

上場会社名 リビン・テクノロジーズ株式会社  
コード番号 4445 URL <https://www.lvn.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 大無

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 金木 宏之

TEL 03-5847-8556

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第2四半期の業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	1,514	0.4	200	14.5	201	14.6	128	14.7
2022年9月期第2四半期	1,508	1.4	234	233.4	235	209.1	150	245.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	95.50	95.38
2022年9月期第2四半期	112.00	111.62

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	1,988	1,274	63.5
2022年9月期	2,008	1,143	56.4

(参考)自己資本 2023年9月期第2四半期 1,261百万円 2022年9月期 1,133百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		0.00	0.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年9月期の業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	15.5	500	31.7	500	31.4	272	15.5	202.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期2Q	1,343,488 株	2022年9月期	1,343,488 株
期末自己株式数	2023年9月期2Q	22 株	2022年9月期	1,343,488 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期2Q	1,343,466 株	2022年9月期2Q	1,342,222 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1.(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いております。その一方で、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には厳しさが増しております。

当社を取り巻くインターネット広告市場においては、AIを活用した広告運用手法、通信環境の進展、デバイスの拡張などを背景に、引き続き堅調な成長が見込まれております。

このような状況の下、当社は、2023年9月期を「継続チャレンジフェーズ」として組織体制を一新し、5つの重点施策に全力で取り組む年度と位置付け、株主の皆様のご期待に応えるべく企業価値の向上に取り組んでおります。第2四半期における主な取り組みとハイライトは以下の通りです。

- ・2023年9月期の重点施策である「M&Aの成約」に注力した結果、コスモテクノロジー株式会社が運営する不動産管理会社向け業務支援SaaS『BAIZO KANRI』事業を譲り受けるための事業譲渡契約を締結いたしました。
- ・同じく、2023年9月期の重点施策である「組織の改編」の一環で、従来の「管理部」を分割し、「経営企画部」を新設いたしました。「経営企画部」はM&A、人事、広報・IR等の業務を、「管理部」は経理、財務、法務等の業務を分掌し、代表取締役直下の部門として専門性を高め、業務遂行力の強化を図ってまいります。
- ・2022年9月期より「働きがいプロジェクト」を全社的に推進しており、物価高騰に対して安定した生活基盤の一助とすることや、従業員の士気向上、人材採用力の強化、従業員の長期的なキャリア形成による能力アップ等を企図して、「生活応援特別昇給」を実施いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益1,514,463千円（前年同期比0.4%増）、営業利益200,789千円（前年同期比14.5%減）、経常利益201,272千円（前年同期比14.6%減）、四半期純利益128,299千円（前年同期比14.7%減）となりました。

なお、当社は、不動産プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,988,419千円となり、前事業年度末と比較して20,018千円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が111,945千円増加した一方で、現金及び預金が152,225千円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は713,869千円となり、前事業年度末と比較して151,316千円減少いたしました。これは主に、未払金が58,004千円、長期借入金が57,522千円、1年内返済予定の長期借入金が20,004千円減少した一方で、その他流動負債が42,311千円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,274,549千円となり、前事業年度末と比較して131,298千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益を128,299千円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ152,225千円減少し、1,109,606千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は46,574千円（前年同四半期は191,451千円の獲得）となりました。これは主に税引前四半期純利益201,272千円の計上、前払費用の減少額63,642千円があった一方で、売上債権の増加額80,708千円、法人税等の支払額123,438千円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は121,273千円（前年同四半期は36,341千円の獲得）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出109,276千円、差入保証金の差入による支出4,537千円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は77,526千円（前年同四半期は77,526千円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出77,526千円があったことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、2022年11月14日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,279,834	1,127,609
売掛金	488,497	569,206
その他	94,563	32,683
貸倒引当金	△8,586	△8,909
流動資産合計	1,854,308	1,720,589
固定資産		
有形固定資産	8,272	11,055
無形固定資産	8,928	7,899
投資その他の資産		
その他	138,429	250,375
貸倒引当金	△1,501	△1,501
投資その他の資産合計	136,928	248,874
固定資産合計	154,128	267,829
資産合計	2,008,437	1,988,419
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,925	2,360
1年内返済予定の長期借入金	150,842	130,838
未払金	273,041	215,037
未払法人税等	135,528	79,996
その他	154,744	197,056
流動負債合計	719,082	625,287
固定負債		
長期借入金	146,104	88,582
固定負債合計	146,104	88,582
負債合計	865,186	713,869
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	194,260	194,260
資本剰余金	163,260	163,260
利益剰余金	776,213	904,513
自己株式	△103	△103
株主資本合計	1,133,631	1,261,930
新株予約権	9,619	12,619
純資産合計	1,143,251	1,274,549
負債純資産合計	2,008,437	1,988,419

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業収益	1,508,726	1,514,463
営業費用	1,273,925	1,313,673
営業利益	234,801	200,789
営業外収益		
受取利息	177	6
雑収入	1,313	559
その他	135	364
営業外収益合計	1,626	930
営業外費用		
支払利息	707	447
営業外費用合計	707	447
経常利益	235,719	201,272
税引前四半期純利益	235,719	201,272
法人税等	85,393	72,973
四半期純利益	150,326	128,299

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	235,719	201,272
減価償却費	1,930	2,495
差入保証金償却額	300	4,867
株式報酬費用	2,999	2,999
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,021	323
受取利息	△177	△6
支払利息	707	447
売上債権の増減額(△は増加)	△205	△80,708
仕入債務の増減額(△は減少)	△437	△2,565
未払金の増減額(△は減少)	36,723	△58,004
前払費用の増減額(△は増加)	△3,027	63,642
未払費用の増減額(△は減少)	△18,641	△11,155
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,861	△21,839
その他	△5,055	68,663
小計	243,953	170,429
利息の受取額	427	6
利息の支払額	△689	△423
法人税等の支払額	△52,239	△123,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,451	46,574
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
有形固定資産の取得による支出	—	△3,720
無形固定資産の取得による支出	—	△529
投資有価証券の償還による収入	40,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△109,276
差入保証金の回収による収入	2,817	—
差入保証金の差入による支出	△3,925	△4,537
その他	450	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,341	△121,273
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△77,526	△77,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,526	△77,526
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150,267	△152,225
現金及び現金同等物の期首残高	1,096,336	1,261,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,246,603	1,109,606



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期財務諸表に与える影響はありません。